



倶知安町子どもプランのゆくえ

町長 総合計画と整合性を図り連動していく

問

子ども・子育て支援事業計画が倶知安町子どもプランとして平成27年度から5年間で計画されている。本年度が最終年度となるので、以下について伺う。

1. 今期の子ども・子育て支援事業計画の評価
2. 次期計画策定のスケジュール
3. 地域子ども・子育て支援事業の取り組み
- ① 地域子育て支援拠点事業の評価
- ② ファミリーサポートセンター事業の導入
- ③ 病児保育事業の導入
- ④ 放課後児童クラブの方向性
- ⑤ 待機児童への対応策

町長

1. 現在、分析を進めており、8月までには完了させたい。
2. 本年2月に実施した第2期子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査結果の分析を進め、御審議いただくほか、パブリックコメントも募り、令和2年3月を目途として策定したい。
3. ①平成30年4月からは、現在の公立保育所めぐめぐく内において事業を実施しており、

利用者から大変よい評価。

②現状の職員体制での直営運営というものは難しく、また、意欲ある受託業者の選定も必要となることから、事業の導入に関しては引き続き調査・研究をする。

- ③病児保育の実施に当たっては多くの課題を整理しなければならず、さらなる時間を要する。
- ④小学校の夏休みまでには、南児童館を児童クラブとしての体制を整える予定。
- ⑤保育士確保や保育環境整備で、待機児童が発生しない取り組みを進める。

希望ある幸齢社会の実現へ

問

- 介護を必要とせず、自立した豊かなシニアライフを送るためには、高齢者の虚弱化を防ぐことや、いつまでも元気で社会とかがわれる積極的な取り組みが大切。以下の点を伺う
1. 当町での取り組みと課題
 2. 積極的な啓発に対する検討
 3. 健康教室や体操教室の検討
 4. 開催場所の検討
 5. 少人数に対しての細やかな対応の検討

町長

1. 地域と行政が協働した活動をしている。健診受診率が低調なので、受診勧奨を積極的に行う。
2. 日常生活買い物拠点において、気軽に健康づくり、健康相談に触れる機会を得られるような啓発の方法について検討。
3. 介護予防リーダー養成講座を活用し、受講生によって自主的なグループが設立できるような仕組みづくりを検討。
4. 地域会館や文化福祉センターの一室、体育館や民間の介護施設等を活用した開催や、将来的には保健福祉会館の利用も検討。
5. 通所による事業への参加が難しく、訪問による介護予防の取り組みが必要であると認められるものを対象に、住宅を訪問し、社会参加を高める予防サービスを検討。

問

冬期間の危険なく歩みの解消

冬期間の積雪による圧雪路面では、道路のマンホール部分に大きなくぼみ、段差が発生することがある。マンホールから上がる暖気が上の雪を溶かすために起こるものであり、歩行者の転倒事故や自動車事故に繋がる場合もある。本町での取り組みとマンホール内の熱を遮断するマンホール断熱蓋の設置状況について伺う。

町長

除排雪の際、路盤厚をできる限り薄く削るよう指導。下水道事業としては、平成2年度より発泡ウレタン付きマンホール断熱蓋の採用を開始。それ以前に整備したマンホール蓋は、幹線道路を主として、蓋の下部に断熱内蓋を追加で設置。

